

令和5年度第3回萩医療圏地域医療構想調整会議 議事概要
(令和5年度第2回萩地域保健医療対策協議会)

【日 時】令和6年1月31日(水) 19:00～20:10

【開催方法】オンライン開催

【出席者】出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 第8次山口県保健医療計画の最終案について説明を行った。
- 紹介受診重点医療機関の選定について協議し、2つの医療機関を継続して選定した。
- 萩市民病院の公立病院経営強化プランについては、地域医療構想との整合性が確認できなかった。

1 第8次山口県保健医療計画最終案について

県医療政策課から、第8次山口県保健医療計画の最終案について説明を行った。
(主な意見・質問等)
特に意見、質問等はなし。

2 紹介受診重点医療機関の選定について

紹介受診重点医療機関の選定について協議を行った。
その結果、都志見病院及び萩市民病院を継続して選定した。
(主な意見・質問等)
特に意見、質問等はなし。

3 公立病院経営強化プラン(萩市民病院)について

萩市民病院から、公立病院経営強化プランについて説明を行った。
プランでは、萩市民病院単独での急性期病床から回復期病床への一部病床転換や地方独立行政法人化などの経営形態等について、研究・検討を進めることが示されており、協議の結果、2病院統合による中核病院形成を方向性とする地域医療構想との整合性は確認できなかった。

このため、萩市において、プランの内容の再検討を行い、改めて、調整会議で協議することとなった。

(主な意見・質問等)

- 萩市民病院が単独で独法化を研究・検討することについては、地域医療構想との整合性が取れていないという県の指摘は間違っていないと思うので、プランについて、今一度、協議、修正をされてはどうか。

- 独法化や病床転換に係るプランの記載について、不適切な部分については、適切に修正するという事柄でどうか。
- 病床転換については、調整会議で議論すべき話であり、市民病院単独で対応できるものではない。また、独法化については、国のガイドラインに記載されているので、研究・検討を進めるという記載を容認すべきではないか。
⇒ 公立病院経営強化プランは、今後4年間の経営強化の取組を定めるものであり、現在、中核病院に形成に向け、取組を進めている中、プランの病床転換や独法化に関する記載は、地域医療構想との整合性が図られておらず、適切ではないと考える。

4 山口県外来医療計画に係る報告について

萩健康福祉センターから、山口県外来医療計画に基づき提出された「医療機器の共同利用計画」について報告を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

5 令和6年度調整会議スケジュールについて

県医療政策課から、令和6年度調整会議の開催スケジュールについて説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。